

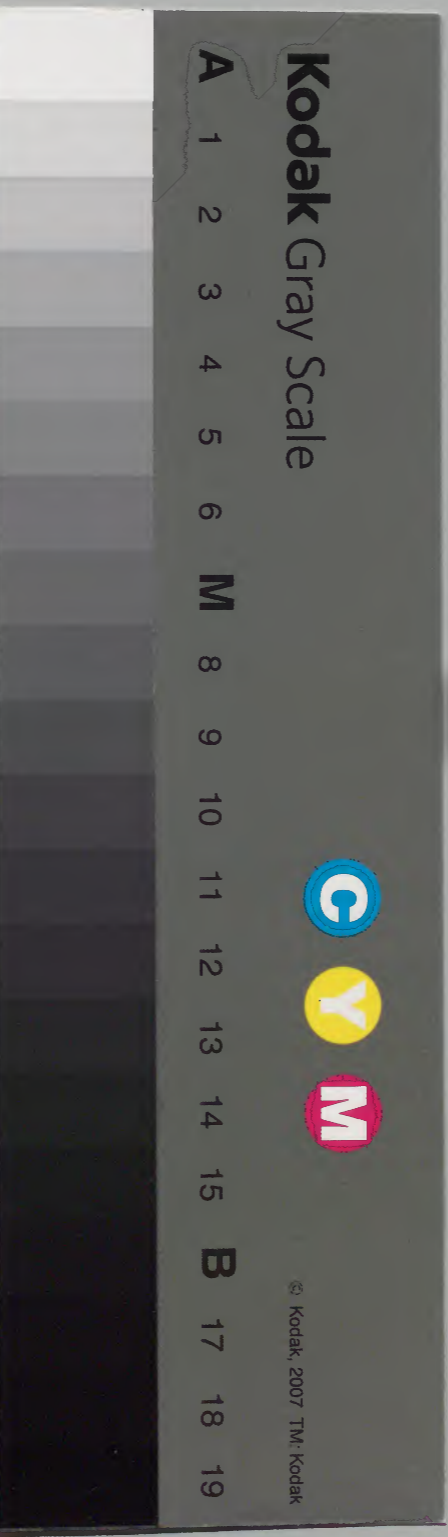
唐土割蒙圖彙

人物
四

庫文閣內		和
八	一	書
四	一	類
兩	一	
三	三	
架	四	
	號	
	冊	
	五	

庫文官政太		和
	一	書
	一	門
	二	
	三	
	四	
	函	
	架	
	冊	
	五	

內閣文庫		典故
番號	和 11134	
冊數	15 (5)	
函號	184 360	



唐土訓蒙圖彙卷之四

人物名の下に
之上 和名と附

明治十二年刊

人物

此部は上三皇五帝
とわかれられし
蠻夷戎狄の形容
とすべし
君臣の名
神祖神仙

渾沌氏

大荒の代は
その始とす
天地の乃
と明たし
陽の道に
神中て
万地
のりやん



天皇氏

出づる徳あり
け時五運始
おろわ大化始
俗真に
といつ



内庫

地皇氏 雄

耳龍門の岳に出つ火徳有道と傳へ中興子兼之と



伏羲氏 木

徳と以て天を総て王とて八卦と伝へ書契と造る在位一百一十一年なり



人皇氏 刑

馬山提地を國と出つ土徳あり山川を相て裁て九州と伝へ



神農氏 火

徳と以て王に天下を耕とす日中を市とて百草とを採て醫薬とす



軒轅氏 黃

帝徳と脩め兵と治め蚩尤と裁て天下を命に敗れ涿鹿に都し一在位一十年壽三百歳なり



有虞氏 帝

舜ハ蒲坂を都し其父頑に母鬻才傲て常に殺んるを堯帝の禪とすける在位五十年壽百十歳なり



陶唐氏 帝

堯ハ平陽を都し其徳は天のふとく其知の神の如く百姓を樂に在位九十八年壽百十八歳なり



夏禹王 舜

命して水と治めを舜位と禪て在位九年壽百歳なり



漢光

高陽王 姓ハ

子名ハ履夏の
樂と代てて
トとたもてり
毫とりふり
都一のふ在
位十二年壽
百歳なり
周武王 姓ハ
姬名ハ発父
西伯王 聖徳と
以て天下と三
分にしてその
二とたもてり
武王 紂と代
天下とたもてり
在位七年



楚項王 項

籍字ハ羽臨淮
の人長八尺二
寸力能鼎と
抗秦とやるは
漢の高祖
と戦て利あり
以て自到て
死に
漢高祖 姓ハ
劉名ハ邦下
沛の人秦と
楚と并て帝
位に即り火
徳と以て長安
に都に在位
三年壽五十二



漢武帝 名ハ

徹在位五十四
年壽七十一
古より年究か
一此時殆て
かこゆり武帝
とからる神仙
とあめりる費
あり



漢昭烈 蜀

姓ハ劉名ハ備
義興と起り
曹操と戦り
漢中王と稱
後即位あり
在位三年壽
六十三なり



魏太祖 曹

操小字ハ阿瞞
沛國譙の人
漢の獻帝の時
義兵とあし
賊と戦り功と
以て王となり
終り漢家を
うへり



漢光武 漢

姓ハ劉名ハ秀
氏同より兵を
あきて王莽と
誅し漢室と
中興せり在位
三十三年壽
六十二なり



吳大帝 姓ハ
孫名ハ權魏
文帝 吳王に
封レ位ニ即テ
金陵ニ都レ
在位三十一年
壽七十一ナリ



西武帝 姓ハ
司馬名ハ炎司
馬懿ニ孫位ト
篡テ自立レ
洛陽ニ都レ
吳ト平テ混
一ニナリ在位
二十五年 壽
五十五ナリ



孫武帝 姓ハ
蕭名ハ衍小
字ハ陳兒甚公
法ト信レ侯景
乱ト起シ臺城
ト圍テ餓テ崩
ナリ 壽八十
六ナリ



唐太宗 名ハ
世民高祖才
二ノ子ニ太子
建成ト殺シ
立テ太子トナ
リ 治リ時天下
トク 治リ負觀
ノ政ト稱ナリ
ハ時ナリ



唐則天 皇后
武氏ハ太宗ノ
才人トシ高宗
立テ皇后トシ
高宗崩レ
朝ニ臨ミ中宗
ト廢シテ潛立
ナリ在位二十一
年 壽八十一



宋太祖 姓ハ
趙名ハ匡胤
在位十六年
壽五十ナリ
太祖始後周
ノ事ト戰功ト
ナリ 後自ら
立テ恭帝ノ
禪トナリ



唐玄宗 睿
宗才ニノ子シ
安祿山ト反ナリ
ニヨリ蜀ニ幸
シテ位ト太子
トシ 大上皇
ト稱レ在位
四十四年 壽
七十八ナリ



元世祖 姓ハ
孛兒只斤 忽
鉄木真蒙古
部人ナリ世
系古部ノ長
トシ 威徳ニ
人ニシテ宋ト
ハシテ王ナリ



明太祖 姓ハ

朱氏諱元璋
至正十五年義
兵とどど一洪
武元年即位
在位三十一
年壽七十一
なり

倉頡 黃

帝の所此人
始て鳥の迹
よりて字とつ
たり天をた
くむに象とふ
ら一鬼とふ
哭け世人遂
字ハ頡より制
すし縁ハ



伯夷 名ハ

元字ハ公信
いり才の淑
とみとつり
俱と逃て西
二級武王の
紂と伐た
凍心後首陽
山に隠て餓
死す

周公 武

王乃弟名直
といへ成王の
幼と輔て政
と攝行つ里
武王周公共
に聖人なり



太公望 姓ハ

姜氏名子牙
又呂尚といふ
西伯留陽
逢て車にのせて
ゆり立て師と
けり六韜
兵法とつる

先聖孔子

名ハ丘字ハ仲尼山東曲阜
縣乃人周の靈王二十一年三月四早時
生り周乃
敬王四十
一年四月
四日午時
薨死す
年ハ七十
三魯の泗
水の上り
葬る



顔子 名ハ

回字ハ子淵魯
人心と潜々
道と體と
號して亞聖と
稱レ

曾子 名ハ

参字ハ子輿
聖門一貫乃
傳と得
其学問の本源
孝とり
故に孝經
曾子の問也



子思 名六

伋孔子の孫伯魚の子衛イ
休の後退く
中庸と仰り
聖學と演て
以て孟子を
傳と啓く

孟子 名六

軻字ハ子輿魯
の孟孫の後鄒
人なり業と子
思の門より
學既に通して
齊梁の間
あふ其學萬
世に明り



莊子 名六

周字ハ子林宋
の國睢陽蒙縣
の人長桑公と
師と南華
仙人と号り
著る内
篇五十卷九
十萬餘言也

屈原 名六

平楚の同姓
三閭大夫と
なり諫を遂て
憂愁して離
騷とけく
汨羅江に沈
り



張良 名六

字房韓の公
子なり圯上老
人の書と授く
高祖に用られ
功成て後赤松
子と後い
乃と保てり

韓信 名六

の人なり漢王
壇と築て拜
して大将とて
三秦とさむ
大功とわ
後誣られ
斬死れ

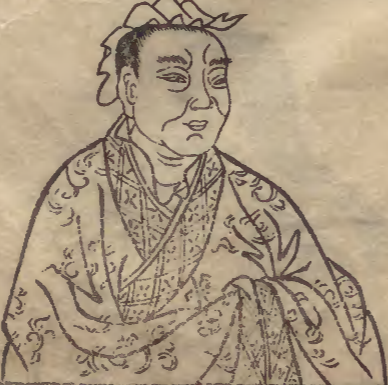


司馬遷 名六

字長と漢
の太初中に太
史令とたり刑
をうて憤と
發し史記と
修り万代史
官の法とたり

嚴子陵 名六

光會初百餘
の人なり
光武と同学
用んとす
出れり富春
山に耕して居
り



諸葛孔明 諸

葛亮字孔明 南陽に寓居す 少劉備を 助て名臣乃 名とわたり



關羽 字ハ

雲長河東解 人なり蜀乃 先主に事て 恩兄弟のど 孫權英 てこれとあり



王逸少 王羲

之字ハ逸少將 軍會稽日乃 内史とたり上 己の日山陰の 蘭亭に會て 風流の名わり又 古今能書の才 一なり



陶淵明 晋の

臣なり宋に 在て名と譽て 潜字ハ元亮 と名け世に 靖節先生と 号し酒に 隠る人なり



杜子美 杜甫

字ハ子美京兆 杜陵の人なり天 寶の末賊を 奏以帝とんと 奇して拾遺 の官にかり 及南よりが さらし人の才 一なり



韓退之 名

愈字ハ退之 南陽の人なり 學者とんと かくと泰山 北斗の如し佛 骨表と上て 潮州に謫せ



李太白 李氏

の母張庚の懐 に入とめあて 李白とありり 因これと名 世に謫仙人 と稱し杜子 と一雙なり



柳子厚 名

宗元河東の 人せし柳柳 州と稱し韓 柳と并稱せ らる文章卓 偉の進士 一なり



賈浪仙 賈

嶋字ハ浪仙と
いつり初ハ法乾
寺の僧ナリ
世ニ稱シ僧ハ
敲月下門の
句とナリ人
ナリ

白樂天 名

居易大原乃
人敏悟人ニ絶
ナリ十七ハ
進士弟ニ登
リ時乃ハ
慈恩塔上
題名慶十九
人中取少年

邵康節 名

雍字ハ堯夫河
南の人天文易
学の数理に達
シ世の易と云
者皆堯夫を
トシ人ナリ其
著ハ取皇極經
世書多ナリ

程伊川 名

頤字ハ正叔聖
学の正脈と傳
孟子の氣象者
トナリ所謂天
民ノ先學聖
代の真儒ト
イハレ



横山詩話國朝卷四



司馬溫公 字ハ

君實夏縣の人
君弟蕭然と
シ圖書ル
益ツその著
所資治通鑑
あり宋朝才
の人物ナリ

張橫渠 名

載字ハ子厚
長安の人西の
路とワレ
同力行國中
士人の宗師ト

程明道 名

顥字ハ伯厚
伊川の兄ナリ
兄才トモ賢
名あり氣象
温和トシ
顔子ト似ナリ
トイハレ

周濂溪 名

惇頤字ハ茂
叔道而營道
の人人品高ク
胸中洒落
光風霽月の
と黄山
谷トイハレ



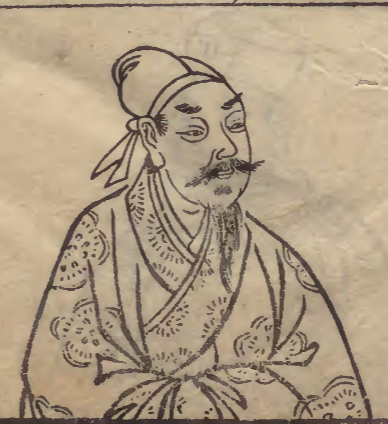
歐陽永叔 名

脩字ハ永叔 廬陵の人 少以孤貧負 七灰といひて地 一畫一書とま 宋朝才 一の文章あり 陸子静 陸 九淵字ハ子静 象山先生と 稱し 語録世 二心と本と 禪と似たり程 朱の學と同一



朱晦菴 名

熹字ハ元晦 率て文と論 程の書と註 一文章より 大成の真 儒なり 黃山谷 名 庭堅字ハ魯直 洪州の人 官大 史に至り 初李 公擇と石牛河 山谷寺と相ま 及常に 故山谷道 人と号れ



蘓東坡 名

子瞻名ハ軾 東坡居士と号れ 眉山の人 翰林學士と号れ 文章 古今絶れて 畫も亦名家 あり



薛文清 名

璿字ハ徳温 山西河津の人 年十二より 詩賦と善し 進士と登り 御史と擢り 諸生と薛夫子と 号れ



許魯齋 許

謙字ハ益之 金華の人 學ハ程 朱の統とほご 其の外天文地 理典章字學 醫經術教乃 活法すといふ



王文成 王守

仁字ハ伯安 餘姚の人 教賊とや 其のわり 學ハ 陸象山の存心 といふ 心學の宗 たり 世に揚明 先生と稱れ



公文九職將神酉丁



圖つ星魁



馬司名將神卯丁



通叔名將神未丁



音之觀之衣之白



佛之尼之牟之迦之釋



佛神仙類

唐土訓家區景卷四

君之帝之武之真



音之觀之海之南之



四六

甲午神將名衛玉卿



甲戌神將名展江子



丁丑神將名趙引王



丁巳神將名崔巨卿



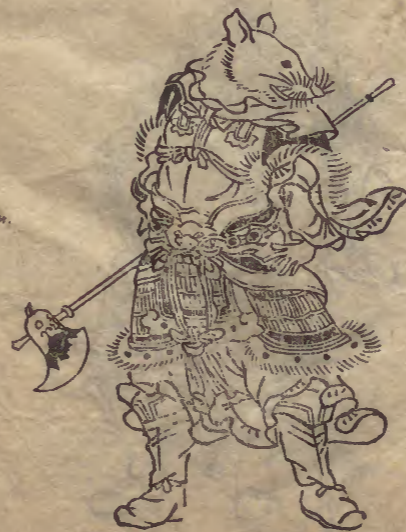
甲辰神將名孟非卿



甲申神將名展長



甲子神將名王文卿



丁亥神將名張文通



唐二前家臣請老

童_り文_り明_り名_り將_り神_り寅_り甲_り



君_り老_り上_り太_りの老子_り



母_り王_り西_り



祖_り彭_り



氏_り陵_り西_り妃_り元_り蠶_り先_り神_り之_り駟_り天_り



蠶の神は天駟の星なりとてハ晉書に
 載之其帝の元妃西陵氏といハル也
 夫ハと云ハル也

朔_り方_り東_り



賓_り洞_り呂_り



張果老



陶弘景



唐詩話卷四

王質



陳圖南



萬國
君子國



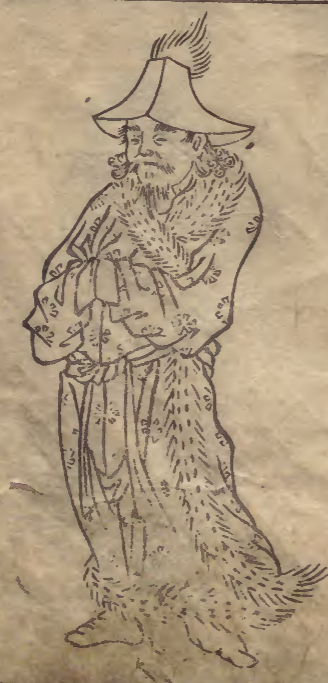
契丹
黑



扶桑國



巴赤舌



包石



吾原愛達



阿思



無連蒙古



紅夷
ヲラニタ



土麻



女暮樂



阿里車盧並



乾魯國



擺里



深烈大



大四維國



采牙金彪



後眼國



鐵東



歌祭



唐土諸國圖卷四

十四

波利



乞黑奚



骨利國



木思奚德



氏吾散僧



黑蒙國



方連魯



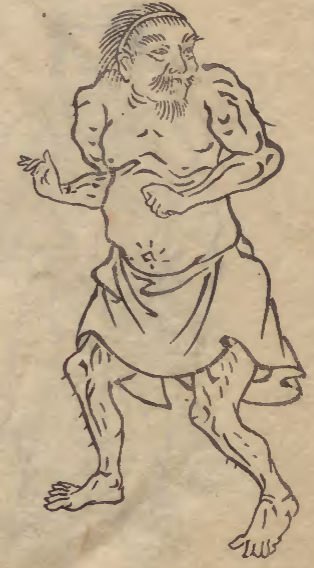
訖魯



唐王訓家國書卷四

廿五

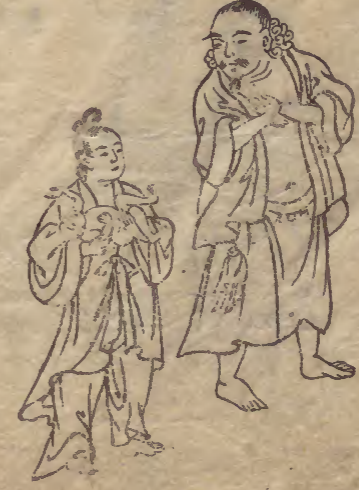
三伏駝国



木直契



獠



西洋國



迦佛国



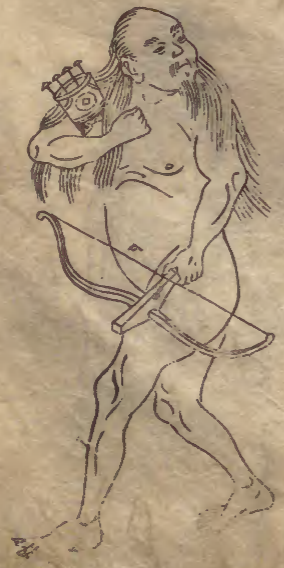
文身国



鳥伏部国



道明国



義渠国



蘇部識匿国



乾陀国



龜兹国



烏孫国



新于里国



正瑞国



擔波国



唐土言夢圖卷之四

七

長月

印

撒馬兒罕

サマルキマ



長脚長臂國

長脚國久ト
長臂國ト相
近シ其人常ニ
長臂ヲ負テ
海中ニ入テ
魚ヲトル



下靈國



